

がん治療における

心のケア

がん患者さんのメンタルケア

—— 力づくでがんを無理やりねじ伏せるのではなく、
がんのメッセージに従って自らの想念や生活習慣を転換する

藤沼秀光 藤沼医院院長



がん治療を行うまでの経緯

私は生まれてから20年間のほと

んどをさまざまな病気とケガに苛まれてきましたが、それを西洋医学ではなく自然治癒力に任せることで20歳の夏に健康体を取り戻した経験から躊躇なく代替医療に足

を踏み入れることができました。やがて大病院を辞めて開業に踏み切ることにより、さらに自由に代替医療を実践することができるようになりました。

もともと循環器系の医療を行っていましたが、がん治療の専門家ではありませんでしたが代替医

療を行っていくなかで、次第にがんの患者さんが代替医療を求めてこられるようになりました。がん患者さんをなんとか助けたいとの思いで、代替医療の研究会・学会に参加し治療法を学び取り実践してきました。

当院での診察の流れ

まず初診時は、診察までの待ち時間に、がんの代替療法についての私の解説動画をタブレットで見ただきます（約30分）。患者さんが初めてのクリニックで診察室に入る前はとても緊張するものです。それは自身の患者としての長い経験からわかるのです。ですから診察前に私の動画を見ていただくことで、どんな医者なのかをわかっていただき、多少なりとも安心していただき、かつ私の行っている代替医療がある程度理解していただけるのです。

時短にもなりますから一石数鳥です。診察室には付き添いの方も全員入っていただきます。患者さん用のイスは私のイスより立派にしています。診察中少しでもリラックスしていただくためです。そして患者さんのお話をとこと

ん聞くよう努力します。

ただ当院は予約制ではありませんし、また保険診療の患者さんとも混在していますので、がんの患者さんに連続で時間を取ることは一般の患者さんを長時間待たせることになってしまいます。そこで所々で診察を区切って、その間に種々の検査（唾液のORP測定・心理テストなど）や代替療法（温熱療法・磁気療法など）を受けていただくことにしています。最終的に患者さんの求めに対し私ができうる最善の医療を提供し、さらに私が良いと思える医療も提案していきます。

がんに対するメンタルケアの必要性

発がん因子は化学的・物理的要素がさまざまありますし、それに對しがん化に導く遺伝子の異常を見つけて治そうとするDNA修復遺伝子は自然治癒力のひとつです。

阪神淡路大震災のあとに住民の遺伝子を調査した研究者によりますと、震災に遭わなかった人 compared to 被災した人々の遺伝子には多くの修復の跡が認められたといいます。このことは精神的ストレス

が遺伝子変異の原因、ひいてはがん化の引き金になることを示しています。

さらに、がん化の真因はもつと奥の素粒子レベルにあるという考え方もあります。サイ科学界の第一人者、関英男博士によりますと（以下引用）、

《中性子の一部が歪むとがんになる》といえます。それでは中性子を歪ませる外的な要因とは何なのでしょいか。化学物質の摂取や放射能、環境汚染も要因のひとつでしょう。

しかし、もっと重要なものがあります。それは心の持ち方です。心が歪むと中性子も歪みます。歪んだ心とは……憎しみ、妬み（ねたみ）、そねみ、羨み（うらやみ）、呪い、怒り、不平、不満、疑い、迷い、心配心、咎める（とがめる）心、いらいらする心、せかせかする心などの感情です。これらががんを生みだします。

中性子の歪む原因は間違った感情を持つことであり、間違った感情を捨てれば中性子は正しい形に戻りがんは治るといいます。そのためには「洗心」が重要でありそれは、強く、明るく、正しく、我を、折り、宜しからぬ欲をすて、皆な

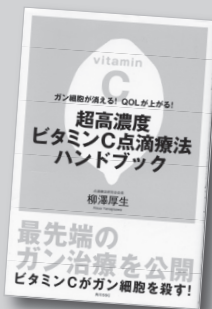
全国書店で好評発売中！

超高濃度

ビタミンC点滴療法
ハンドブック

柳澤厚生 著

角川SSコミュニケーションズ
1200円（税別）



5、6年ほど前ににわかに注目を集めるようになった「超高濃度ビタミンC点滴療法」。当初は数えるほどしか同療法を受けられる施設はなかったが、今では全国約400カ所のクリニックでビタミンC点滴療法を受けられるようになった。本書では、超高濃度ビタミンC点滴療法の現状について述べたのち、ビタミンCががん細胞を殺すメカニズム、同療法の歴史などを簡略に紹介。各施設からの症例報告や「どんなガンに有効か？」など、治療を希望する患者さんへのガイド的な章も設けている。

巻末には、北は北海道から南は九州・沖縄まで、同療法を受けられる医療機関リストも付いている。著者である柳澤厚生氏は、米国ニューヨーク科学アカデミー正会員、米国心臓病学会フェロー、国際脈管学会フェロー、米国先端治療会議正会員、杏林大学保健学部救急救命学科教授を経て、現在は国際オーソモレキュラー医学会会長を務める。

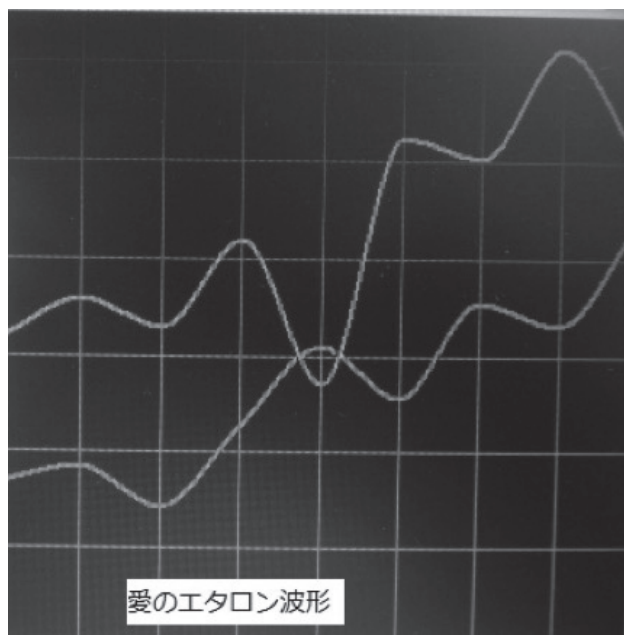


図1 青（上）の線は同化を、赤（下）の線は異化を表す

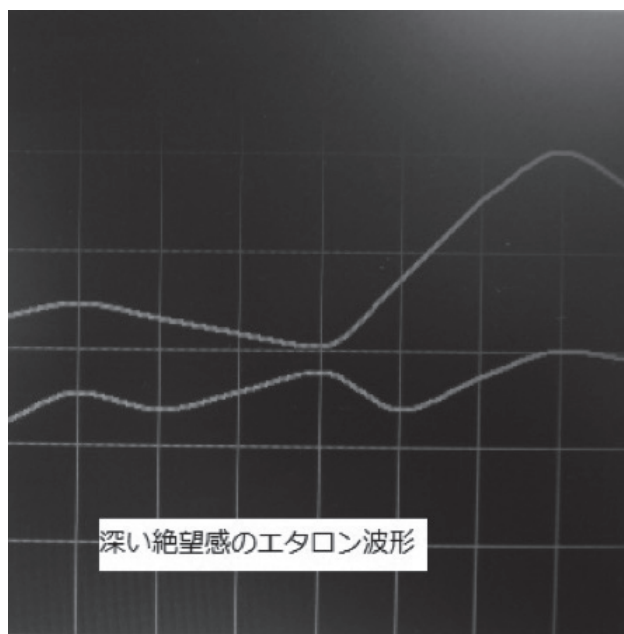


図2 赤の線が上にあり、異化が亢進し破壊プログラムを示す

さまざまな想念に関しても、各々そのエタロン波形は特定されており、たとえば「愛」の波形（図1）や「深い絶望感」の波形があり（図2）、この絶望の波形はなんとがんや肉腫の波形（図3）に類似しているのです。つまり絶望の状態にいと悪性腫瘍のスイッチがオンになるのではないかと考えられています。

事実がん患者さんには悲しみ、陰うつ、妬み、強い動揺などのマイナス感情を示すこ

かよく相和して、感謝の生活をなせ、の七つの心をもつことです。①」

論議のあるところでしょうが、「洗心」により心は穏やかとなり神経・内分泌・免疫系に作用することは医学的にも頷けます。たとえば分子細胞レベルの治療が奏功しがんが治ったとします。しかし、中性子の歪みが取れなければまた新たながんが発生するかもしれません。

実際、同じ治療をしていても治る人とそうでない人とがでてしまいますが、どこに原因があるのでしょうか？ もちろんがんの種類や病期にもよりますが、ステージ

現場でのメンタルケア

がん患者さんには常に死の恐怖

IVでも元気にがん闘いあるいは共に生きている患者さんもいます。そんな方に共通しているのは心の持ち方が前向きだということです。現代科学や現代医学では中性子の歪みとがんの因果関係をまだ証明することはできませんが、心に働きかけてがんの治療を行う音楽療法やサイモン療法などのイメージ療法は、今日広く行われ効果をあげていることはよく知られています。

が付き纏っていると思います。

診察の最後に、あの有名な帯津先生は「絶対に治ると強い心、いつ死んでも悔いはないという姿勢が大切です」とおっしゃっています。絶対に治るんだという強い意志と一日一生という思いで大切に過ごしてください。人は誰でも必ず死を迎えます。ただ長いか短いかの違いだけです。また明日の命はだれにもわかりません。私自身、さまざまなスピリチュアルな体験から魂は存在し永遠である、あの世も存在すると確信しています。死んだら終わりではないのです②③とお話しします。

「明日死ぬかのように生きろ、永遠に生きるがごとく学べ」これはマハトマ・ガンジーの言葉ですが、裏を返せばいつ死んでも悔いはないように生き、永遠なる魂は学び続けると解釈できるでしょう。

当院では量子（トーションフィールド）理論に基づく装置「メタトロン・ホリスティック」により被験者のチャクラ・想念・肉体のエネルギー状態を遺伝子レベルまで測定しています。エタロン分析手法により正常で健康な臓器・組織のエネルギー波形と比べて被験者の波形にどれくらいの隔たりがあるかを分析していきます。

とが多くみられますが、感情が先にあるのか、がんによってこれらの感情が生み出されているのかは知る術はありませんが、病状が改善するに従い気遣い、親切、勇気など変化することが認められます。このことから関博士の示された「洗心」を心がけることはイメージ療法と共に大切なことではないでしょうか。

力づくでがんを無理やりねじ伏せるのではなく、このように、がんのメッセージに従って自らの想念や生活習慣を転換することにより、がんはやがてその役目を終えて去っていくのではないでしょう

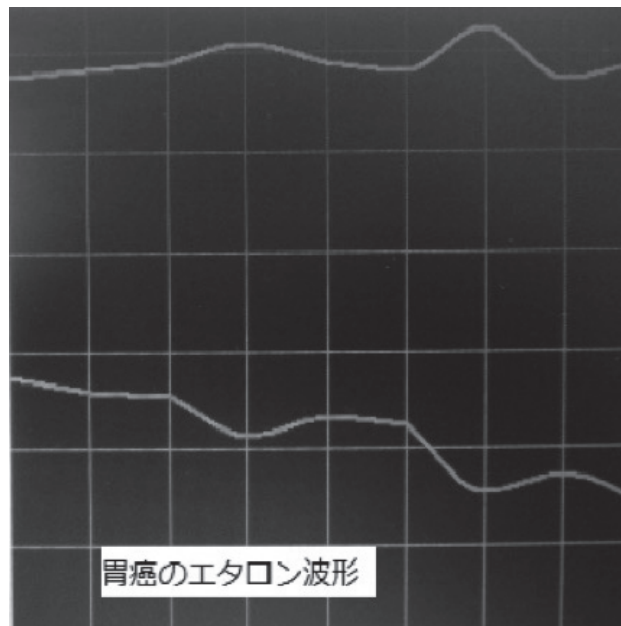


図3 赤の線がさらに上昇して異化が亢進し破壊のプログラムが進行している

- 参考文献
- (1) 関英男『高次元科学2、氣と宇宙意識のサイエンス』中央アー出版、東京、1996p.100-133
- (2) 藤沼秀光『不思議な臨終の話』小山医師会雑誌、vol.11,2008、p.96-98.
- (3) 吉田繁光「医師である私ががんになったら」『統合医療でがんに克つ』vol.78,2014,p.32-33

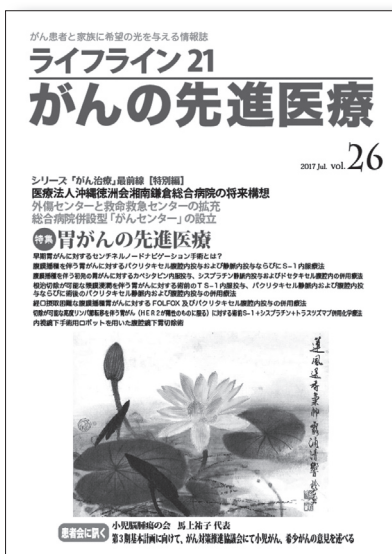
か。

皆様の想念転換を願って止みません。

がん患者と家族に希望の光を与える情報誌

ライフライン21 がんの先進医療 VOL.26

全国書店で
発売中!!



定価1234円(税込)

発行・株式会社路書房 発売・株式会社星雲社

特集 胃がんの先進医療

早期胃がんに対するセンチネルノードナビゲーション手術とは？
腹膜播種を伴う胃がんに対するパクリタキセル腹腔内投与および静脈内投与ならびにS-1内服療法
腹膜播種を伴う初発の胃がんに対するカベシタピン内服投与、シスプラチン静脈内投与およびドセタキセル腹腔内の併用療法
根治切除が可能な漿膜浸潤を伴う胃がんに対する術前のTS-1内服投与、パクリタキセル静脈内および腹腔内投与ならびに術後のパクリタキセル静脈内および腹腔内投与の併用療法、ほか

標準治療

がん治療の基礎知識—血液のがん（白血病・悪性リンパ腫・多発性骨髄腫）

好評連載

免疫新薬 先端医療 難治がん・転移がんの集中治療・往診治療 星野泰三
しっかりと免疫新薬を使うコツ

シリーズ 「がん治療」最前線 特別編

医療法人沖縄徳洲会湘南鎌倉総合病院の将来構想 塩野正喜院長に訊く
外傷センターと救命救急センターの拡充
総合病院併設型「がんセンター」の設立

本書は大型書籍として書店にて販売されています。書店にない場合は直接下記へお申込みください。

路書房 〒247-0073 神奈川県鎌倉市植木818 テラス植木5号室 星雲社 〒112-0005 東京都文京区水道1-3-30
TEL: 0467-55-5188 FAX: 0467-55-5213 TEL: 03-3868-3270 FAX: 03-3868-6588